

# 群馬県助産師会だより

(社)日本助産師会

## 関東甲信越静地区研修会特集号

発行 (社)群馬県助産師会  
〒373-0018  
群馬県太田市丸山町 250-7  
TEL/FAX 0276-37-5198

平成23年1月16日発行

寄り添おう すべてのいのちに！～助産師の原点を見つめ直して～

三つのCから学ぶもの チャンス！チョイス！チャレンジ！

会長 鈴木せい子



会員の皆様、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。昨年は本会にとりまして、新たな歴史を刻み込むことができた飛躍の年となりました。

2月開催の50周年記念行事 朗読劇「ハッピーバースデー」公演に続き、秋の日本助産師会関東甲信越静地区研修会を担当しました。地区研修会は、11年ぶり前回と同じ伊香保の地での開催となり、約200人の助産師仲間をお迎えして盛会裏のうちに終了できました。

50周年記念行事は、1500人と多くの県民から支持していただき、助産師会の存在感を大いにアピールできる機会となりました。一方、手放して喜べない課題を残しました。会員の参加が少なく、かかわった会員との温度差の違いは歴然としていました。普段活動に参加できない会員にとって「助産師会に入っていて良かった」と思っていただけの絶好の機会だと思っていましたので、組織をあずかる立場としては複雑な思いでした。正直、多くの県民から浴びせられた賛辞の声は虚しく思えてなりませんでした。このままでは半年後の秋の地区研修会がどうなるのか…。執行部にはそんな危機感がありました。結果的には、そうした不安がかえって一致団結してがんばろうといった弾みになりました。

地区研修会は、参加された多くの皆さんから高い評価をいただき、大成功のうちに終了する事ができました。一番の懸案であった会員の参加率も50周年記念行事に比べかなり高率でした。研修内容はもちろんの事、運営にかかわった会員一人一人が全エネルギーを注ぎました。丁寧に親切に対応でき、他県の参加者から驚嘆と絶賛の声をいただきました。群馬県助産師会の「すごさ」がそこかしこにあらわれ、どの場面を見ても、ゆるぎない団結力の確かさを確信できました。これも一重に地区支部長はじめ役員・実行委員、運営委員みんなのご尽力の賜物だと思っています。特にみんなの度肝を抜いたのは、参加者全員にお土産に用意させていただいた古新聞を利用したエコバックです。それもタダの新聞で無く、群馬県助産師会の記事が必ずどこかに掲載されていました。約200枚以上よくもまあ保存していたと思うでしょう。いつか役に立つことがあるかと思ひ大切にしておきました。それに制作の手間ひま。各地区支部ごとに集まり、みんなで心をこめて丁寧に手間ひまか

けました。「大変じゃない？」と声をかけると、意外にも「楽しい！」と反応がかえってきたのです。仲間意識や結束力を高める意義あるワークでした。

いよいよ本番！実行委員たちは前泊して徹夜で準備に追われました。当日50人位の実行委員・運営委員たちは、若草色のジャンパーに身を包み、てきぱきと与えられた役割をこなしていました。ドッキン！としたのは二日目を使うCDの紛失。無くなっているのに気づいたのは本番スタート1時間前、必死で探しましたが見つかりませんでした。アンパンマンマーチです。せっかく衣装とお面を手造りして、踊りも練習してスタンバイしたのに……。でも、さすが助産師、機転を利かせて、すぐに町内の図書館に走りまわりました！でも休館日。レンタルショップでレンタルしてすぐに戻って…どうにか間に合ったのです。

思えば、そうしたことの連続でした。予期しないできごとが起きるたびに、その場その場で対応、改めてみんなの「チームワークの素晴らしさ」を実感したものです。

さて、裏話はこれくらいにして、肝心の研修会の内容ですが、終了後のアンケートからも参加者の関心はバランスよくそれぞれのプログラムに向けられたようです。今回は群馬県ならではの特色を出し、本会の看板事業「いのちの教育」に重点を置きました。二日目の午前中 助産師が伝える「いのちの教育」のマイクを持った時は前夜の余韻からまだ覚めやらぬ雰囲気が会場に漂っていました。

そして、多くの感動を与えた懇親会。オープニングセレモニーは、ぐんまちゃんを囲んで実行委員・運営委員がそろって「手のひらを太陽に」の手話つき踊りを披露。各県支部代表者による熱のこもったスピーチに続きいよいよピンクエレファントことミネハハの登場！一曲一曲情感を込めて謳い上げる神々しい姿と、確かな歌唱力にみな酔いれました。業者(男性)は「歌を聞いて涙したのは初めてです！」とおっしゃったほど。それぐらい感性に訴える素晴らしいコンサートでした。

ミネハハとはひょんなところでご縁ができました。私が九州福岡の八女市の教育委員会のお招きで人権教育の講演に出向いた時、市内に私の講演会のポスターをみたミネハハのファンから一枚のCDが贈られてきました。

私と同じ思いでコンサート活動をしている方がいるというのです。このCDの「ありがとう」の曲を聴いたとき、思わず心揺さぶられるほどの震動が身体中に走りまわりました。さっそくコンサートに出向き、お会いしました。全身からオーラが伝わってきて存在感に圧倒されてしまいました。そして彼女からNHKラジオ深夜便出演へとつながったのです。そのおかげで、去年は全国各地に講演に出向く機会も得ました。東本願寺長浜別院、世界文化遺産仁和寺等フィールドも広がりました。某市医師会からも招かれ、産婦人科医師を前に汗をかくなど貴重な経験もしました。私にとっても充実した一年だったと思います。

ミネハハが残した三つのC。チャンス・チョイス・チャレンジ。懇親会終了後、CDを求める方々が途切れも無く延々と列をなしました。じつは一番お目当ての「ありがとう」の曲は一年前の地区研修会の前日、評議委員会の席上で各県の代表者に次年度開催県としてお渡ししていました。でもその後、どこからも「イイ曲だね どなたが歌っているの?」とか「素敵なCDをありがとう」といったお問合せ等がまったく無かったのです。もし何らかのアプローチが有ったなら、NHK番組出演のチャンスは私ではなかったかもしれません。チャンスは自分でつかむもの。そして選んで、挑戦する姿勢が飛躍につながるのです。このミネハハが残したメッセージこそ常に新たなことに果敢に挑んでいく助産師の資質として求められるものだと思います。

二つの大きなイベントも終わりました。お力をいただきましてありがとうございます。チーム力の勝利です！小さな団体ですが、みんなで力を合わせるとすごいことができるんですよ！

当面は公益法人化に向けて全力を投球しなければなりません。今後も引き続き皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

本年も会員の皆様にとりまして、多くの幸が訪れますよう祈っております！



## (社)日本助産師会会長 加藤 尚美

地区研修会では大変お世話になりました。有難うございました。

企画・準備当日の運営と大変だったと思います。素晴らしい環境の中で、素晴らしい研修会ができて皆様もホッとしておられるかと思いきやと同時にお疲れではないかと案じております。どれもこれも素晴らしく、会員共々多くの学びをさせていただきました。私への配慮もいろいろ頂き厚く御礼申し上げます。今後とも、日本の助産師に向けてご指導くださいますようお願い申し上げます。本当にありがとうございます。

## 地区研修会 大盛況で終了！

## 実行委員長 真下 由利子

1年半の準備期間を経た研修会が大盛況に終了しました。群馬県ならではの研修会にしようと、研修プログラム内容や懇親会などで、たくさんのアイデアを出して会をまとめてくださった鈴木会長をはじめとし、研修会を運営してくださった実行委員の皆さん、協力してくださった群馬県助産師会の皆さんの結束力の賜物と深く感謝いたします。また、地区研修会はみんなで盛り上げようと参加してくださった他都府県支部の皆さんにも感謝いたします。

11年前の研修会の開催にも関わっていたとはいえ、部分的にしか見ていなかったことを実感しました。実行委員長の重責を担って、不安も大きかったのですが、それ以上に群馬県で開催する期待感がありました。おりしも2月に群馬県助産師会の記念事業を終え、会員の皆さんが一致団結して事業に取り組む気持ちが高まってきたこともあり、県外の会員さんはどれくらい参加してくれるかな・・・とか、県内の会員外の助産師は興味を持ってくれるかな・・・とか不安もよぎる中、とにかく「やるしかない！」実行委員のみんなでそんな気持ちを盛り上げながらの開催でした。プチハプニングは色々ありましたが、会員の機転で乗り越え、無事に全てのスケジュールを終えることが出来た時の安堵の気持ちは格別でした。参加した多くの方から「群馬はまとまっていますね。」とか「パワーがありますね。」とか「アイデアが素晴らしいですね。」とか、たくさんの温かいお言葉をいただき、肩の荷が下りました。また11年後にはこの地区研修会の担当県として、新たな様子で開催することになります。皆さんからいただいた温かいご意見や感想を参考に、次回開催まで他支部が開催する研修会に参加し、南北関東地区の会員みんなで研修会を盛り上げていければと考えています。実行委員長として頼りない部分も多々あったと思いますが、ご協力いただき本当にありがとうございます。私も研修会を全体で見ることで、これまでにない貴重な経験をさせていただきました。それが群馬県助産師会の運営にも反映できるよう努力していきたいと思っております。



## 実行委員からの感想 ガンバリました！

◆準備段階では会議には参加出来ないこともあり、私のできる事をやろうと、広告依頼を6件、勤務している会員へ研修会参加働きかけをし、4名の方に参加して頂くことができました。エコバック作りでは、前橋支部は主に母子訪問をしている9名が集まり会員の方の得意とする力が発揮されました。この作業は平日頃なかなか一同に集まれないので、多くを語り合えた楽しい機会となりました。当日は、前橋支部担当受付と研修会の場外を見回り調整にあたりました。受付をはじめ先輩が主になり若手の方と一緒に取り組みができ、初めて研修会に参加した人もいろいろ体験出来て、お互いに助けあった研修会だったと思います。

山本静江

◆懇親会係を仰せつかりましたが、何をどうしたらいいのかからず、皆さんに協力して頂きながらなんとか成し遂げたという状態でした。「手のひらを太陽に」の手話は山本さんの娘さんに教えて頂いたお陰で披露することができました。会場のテーブルのセッティングが急遽変更になり、バタバタした時は、何人もの方々のお陰で無事に乗り切ることができました。渋川支部の方も本当に良くやって下さいました。皆さんの御協力に心から感謝しています。2月の朗読劇に続き、一人ひとりの力は小さくても、その力が集まると大きな力になるということを実感した地区研修会でした。どうもありがとうございました。

飯田 裕子

◆「助産師のパワー」は、凄いと感動、実感した2日間でした。参加者は、200名位で、東北～関東～近畿と広範囲で、年齢層も20歳～70歳と「1つの業をなす集まり」で、中には、お母さん、お父さん、子供さんと家族で参加した方のお顔を見ると、つい声をかけてしまいました。いろいろな出会いがあり、笑顔があり、これでこの日の為に鈴木会長を中心にした会員で実施した数年間の会議が、そしてエコバッグ作りなどが実を結んだと実感しました。「からだに優しい手当て法」吉度先生「陰陽のバランスを正すことで、健康になり、幸せになれます」の講義は、興味深く傾聴しました。実習時には、各種のお茶を配付し、順番に出すポットを正しく配付するだけでも汗だくとなり、しかし受講皆様の興味津々の熱い視線にパワーをえて次から次へのポットを配付しました。そして受講皆様の暖かい笑顔で安らぎを得た事を感謝しております。

一場文子

◆当日、いや前日からハブニング続きだったが、そんなときの対応が組織としての実力を高める良い機会となり、それを乗り越えられたのは、皆で力と知恵を合わせた賜物と実感している。そして何より参加して下さったみなさんの笑顔や温かいお言葉に、なんとも言えない達成感に浸ることができた。感謝。

石坂泰子



前橋支部が受付を担当 手際良い作業でスムーズに運営

◆藤岡支部では群馬の玄関口 高崎駅で送迎バスに載られる県外からの参加者の方々を構内を手分けして出迎えました。研修会トップバッターの講演者の日本助産師会会長の到着が遅れるハブニングがあり、送迎バスが急抛 高速道を走ったりでヒヤリとした場面もありましたが、渋川駅で迎えた吾妻支部の会員や伊香保バス停で迎えた富岡支部の会員と連携し、公共機関で来られた方々は開始時刻には会場に入って頂き安堵いたしました。平日の朝のラッシュ時、高崎駅の乗降客は多く、私達の「[助産師会地区研修会]」と書かれたプラカードに目を向けて様々な表情を見せて下さる方々がいらして、社会も助産師という職業に関心をもって下さっているのかなという思いで 小雨の中、携帯電話をにぎりしめ通り過ぎる人々に笑顔をむけたような恥ずかしいような一時間あまりでした。

佐藤孝子

◆「伊香保温泉、日本の名湯」 群馬が誇る名湯の地にて開催した地区研修会。今回実行委員として関わる中で改めて実感したことは、助産師会は逆境に強い!!ということ。ハードルが高ければ高いほど「なにくそ精神」がメラメラ燃えて、火柱が立ちあがるんですね。9月29日に前泊した時の「夜の出来事…」は、まさしくその大きな着火剤になったのかもしれませんが。本番の2日間は、ホテル木暮の社訓ではありませんが「誠心誠意、おもてなしの心で…」。次々と起こるプチハブニングにも持ち場を超えた連携プレーで対応し、みんな笑顔で2日間頑張りました。個人的な反省は多々ありますが、「群馬の助産師ここにあり！」と印象付け、会の結束力もさらに高まったと確信できる実り多き地区研修会でした。

関口雅美

◆地区研修会で高崎支部は会場係と救護係を担当しましたが大きなトラブルは有りませんでした。研修会の準備は昨年から進め群馬独自のテーマでプログラムを検討してきました。支部会員の出席者も多く一人一人が研修会を盛り上げる姿勢だと思います。研修会の二日間は係りの人は明るく笑顔が零れる様な表情で接していました。研修会参加者の多くの人から内容について高い評価をして頂き、群馬から伝えたいメッセージが届いた事は私達が一番嬉しい事です。私達の小さな職能団体でも今年には大きなイベントを2回実施する事が出来ました。それは会長の強いリーダーシップで役員全員が一丸になった事だと思います。大変お世話様になりました。

伊藤とく

◆新聞バッグ作りは支部内の交流にはとても良い機会でした。普段顔を合わせない方々と話しをしながら作業をしていくうちに仲間意識を持つことができました。研修会の前日、会場作り、資料作り、部屋割など、膨大な作業を明け方までかかってやりました。「縁の下の力持ち」の役員、実行委員の方々本当にお疲れ様でした。

秋山三重子

◆入会以来の幽霊会員であり、助産師会もあまり知らないのに県役員(監事)となり、戸惑っているうちに理事会、研修会の準備そして本番と目まぐるしく時が過ぎていきました。その中のエコバッグ作りでは、助産師会の記事の載っている新聞紙を預かり、プレッシャーとの戦いでありましたが、高崎支部では役員のみでノルマを果たしました。助産師会の一員として、研修会の準備から臨め、リーダーシップと団結力、協調性のある会であることがわかり、自分もその一つの歯車になれたことを嬉しく思いました。皆様の御協力の下、無事??役割が果たせました。大変お世話様になり、ありがとうございました。長谷川美津子

◆私は実行委員として微力でしたが、皆さんと楽しく参加でき、とても良かったと思います。皆で作成したエコバックも好評を頂き、私達の真心が伝わった事を感じました。印象的だったミネハハのコンサートでは、参加者の感動の波が伝わって行くのが見えるかの様で、こんなに共感できる助産師ってすごいと思いました。会長さんのリーダーシップのもと、真下実行委員長さん、運営、実行委員の皆さんの力を結集させ、研修会が成功できた事を誇りに思います。素敵な笑顔と接待の良さ、各支部のチームワークの良さと手際の良さがとところどころにきらめいていましたね。すばらしかったです。脈々とつながれていく群馬県助産師会を感じました。本当にありがとうございました。須藤美佐代

◆結婚で退職と同時期に、助産師会に入会して17年近くになります。助産師会員とは名ばかりで、無縁な状態でした。助産師会がどのような活動をしているのか、詳細も知らずに、昨年より新生児訪問に携わらせて頂き、今年2月の朗読劇のお手伝い。そして、9月には研修会の実行委員と全てが手探りの状態でした。事前に打ち合わせを重ね、準備をして、1つの目的に向かって助産師会員の方が一丸となり、力を合わせている姿に感銘を受けました。そして、2日間の研修会では、団結力を感じました。前橋支部以外の方のとの関わりも持て、1人1人の力が集結、発揮された充実した2日間でした。ありがとうございました。道下浩美

◆今年2月に続いての大イベント。記念事業実施後の整理と疲れもあってか、準備の取り掛かりが心配でしたが、鈴木会長、真下実行委員長中心に群馬県助産師会パワー全開でみごと大成功した地区研修会でした。県外からの参加はもとより、本会会員の参加が多かったのが大変うれしかったです。実行委員と当日お手伝いの運営委員がスムーズに協力しあい運営できたのも、記念事業実施時のコミュニケーションが活かされていると感じました。さて今回も総括担当で、前日準備、当日2日間があつという間に過ぎてしまいましたが、反省点として、双方が同じ認識をもつまで、丁寧に緻密に打ち合わせることがどんなに大切か痛感しました。2大事業が終わってホッとしました。尾内静代

◆助産師会に入会して三年が過ぎ、初めて参加する研修会では私は実行委員となった。初めての経験であり何をすればいいのか分からず、与えられた仕事をこなすという感じだった。エコバッグ作りや「手のひらを太陽に」の手話は大変であったが、参加者に喜んでもらえ、私たちの気持ちが伝わったようで嬉しく思い、苦勞が報われた気がした。当日は会場係と救護係であったが、救護が必要な方もなく、会場係も係内で連携し大きなミスやトラブルもなく終えることが出来た。しかし、私の知らないところでは、思いもよらないアクシデントが次々と起こっていた。会長や実行委員長を中心に、対応にあたられた実行委員の方たちの苦勞は大変なものがあったと思うが、その迅速かつ的確な対応に感動し、助産師の底力と団結力を改めて感じた研修会となった。この感動と経験を忘れず、これからの助産師会の発展に貢献できるよう、そして自分自身の成長のためにも努力していきたいと思う。

小林 真里

◆地区研修会に実行委員としては、今回初めて参加しました。委員会や準備に何回か集まる中で、こんなにたくさんの準備をしていかなければならないのは大変だなと思ったり、皆で協力することのすごさをあらためて感じたりしました。当日はマイクや照明を担当しましたが、簡単なことのように見えても、いざやるとなるとなんでも大変なのだというのが実感です。私のように決めていただいた事をするだけでも大変なのに、理事や実行委員長の方はどれほど大変だったかと思います。今回参加したことで苦勞が少しは理解できた気がします。会の行事等に参加するには自分のできることを少しでもしていければと思いました。

松井万智子

◆今回、助産師会に入会し、ハッピーバースデイ記念事業後さらに大きな研修会、地区研修会に、会場・救護係として、実行委員の一人であることを意識し、緊張感をもって参加することができた。その中で、普段、接する機会の無い県助産師会会員、助産の道に進もうと共に学んだ仲間、県内・県外の多くの意欲ある助産師に触れる機会となるとともに、多くの感動があった。懇親会では、ミネハハさんの歌声に引き込まれ、会場が穏やかにまとまったような感覚を覚えた。また、2日目ミネハハさんの歌がバックに流れるDVD上映は、さらに心に響いた。会場の傍で、会場内の様子を見、感じながらであったが、涙している方もいた。当日に先立ち作成した、紙バッグもそれぞれが、ひとつ一つ心を込めて作り、まとまった時も会員の力を、力強さを感じる事ができた。多くの、助産師力感じ、日々学んで行く力となった。

宮本洋子

アンパンマンマーチにのって





◆11年前の関ブロの時は八木節の練習を何度もして大変だったようですが、今回も、数十回の実行委員会議のうち、「手のひらを太陽に」の手話の練習をしたり、記念品1つ1つにシールを貼ったり、エコバックにカバー掛けをしたりと、開催県の大変さと充実感を実感することができました。今回は実行委員だけでなくエコバック作りにより、早いうちから多くの会員さんが協力して下さった事が、成功に繋がった大きな力になったと思います。それは当日の会員一人ひとりの心温まるおもてなしに表れていました。研修内容についても大変満足の回答が多く、なにより、ゲスト「ミネハハ」の感動のステージが群馬県助産師会のメッセージと重なり、参加者の皆さまの心に大きな感動を贈ることができました。また1つ、群馬県助産師会の大きな結束力になった地区研修会でした。 **古澤弘子**

◆懇親会でぐんまちゃん役を立候補し、させていただいたのは私です。もうお1人の立候補者石坂さんごめんなさい(´▽´)「手のひらを太陽に」の手話振り付けを、実行委員会で練習し、当日は、間違えないようにと緊張しました。本番、緊張の中、きぐるみの中から覗く皆様の笑顔と手拍子！励みになりました。…癖になりそうです。今年度から書記局として、理事会の仲間入りをさせて頂いています。初めてのイベント。第1日目の司会を始め、右左わからぬ状態で、全て他スタッフに教わりながら、研修を終えることができましたかと思えます。スタッフみな、訪問他勤務や家庭との両立のなか、準備期間をすすめていく姿は脱帽です。あらためて助産師のパワーを感じました。参加された他県の助産師さんに喜んでいただき私達も心満ちた研修会となりました。 **小林恭子**

◆11年前の群馬県での関東甲信越静ブロック講習会では、私はただ参加しているかんじでした。助産師会員としては、うすい立場だったと思います。今回の地区研修会ではハッピーバースデーの時もそうだった様に、一人一人持ち場を守り協力して、しかもまとまっていました。茨城県の方から、「群馬は、どうしてまとまっているの？」と聞かれました。「鈴木会長を長として、皆協力しているんです。」と答えました。長い間会員として活動して、群馬県助産師会に愛着が感じられた一瞬でした。 **阿部惇子**

◆私は、(社)日本助産師会および群馬県助産師会に入会して今年で2年目になります。今回、大きな研修会を開催する側になるという「生まれて初めての、経験」をさせていただきました。入会してまだ日も浅く、何もわからず、何をすべきなのかわからない中、役員の方々の苦労や奮闘ぶりを身近で見ることができ、また、一人ひとりが生き生きと働いているのを肌で感じることでとても勉強になりました。実際に、実行委員として会場で持ち場に

立ってお手伝いしたこともよい経験になりました。度重なる会議や研修会会場で助産師のパワーを目の当たりにして、改めて「助産師っていいな」と思いました。 **下橋利恵**

◆群馬県助産師会の方々と行動していると、皆さんすばらしくて、いつも頭が下がる思いでいっぱいになります。今回も皆さん心が一つになり素晴らしい研修会になったことを、心からお祝い申し上げます。このような立派な仲間の中に身を置くことが本当にありがたいと実感しています。私は受付の責任者のお役を頂きました。なにかと足りない私ですが、前橋支部長の額田さんはじめ係になった皆さんがテキパキと動いて下さったお陰でスムーズに受付業務が流れました。ありがとうございます。研修の中で上映された『命の大切さの講座』の映像にはマグニチュード10くらいの感動を受け、涙があふれてきました。命の誕生って素晴らしいですね。これからも皆さんよりよろしくお願いします。 **伊藤映子**

◆関東甲信越静地区研修会では、大変お世話になりました。今回初めてこのような大きな研修会に実行委員の一員として関わらせていただき、群馬県助産師会の強く温かいパワーを肌で感じることができました。エコバック作りでは、和やかな雰囲気の中、皆の心が一つになり準備が進められました。手間はかかりましたが、研修会に参加して下さった皆様より、喜びの声をいただき、大変嬉しく思います。研修会当日は、受付を担当させていただき、皆様にご指導いただきながら無事に係の仕事を終えることができました。群馬県助産師会本部役員の方をはじめ、会員の皆様、本当にありがとうございました。 **浅野目麻華**

◆今回は群馬県が主催という事で、色々な面で大変でした。まず、今年度から前橋支部長を引き受け、その頃から調整が始まったわけです。私は夫、子供3人の家族がおり、それも核家族。関ブロに向け度重なる会議に出席するにあたりかなりの調整がいります。時には会議に子供同伴で出席、または子供達だけで留守番させたりでかなり神経を使いました。でも、会員の皆さん気を使ってくれたり、仕事を肩代わりしてくれたり、何とかこなしていく事ができました。そして、迎えるは当日、子供の遠足もあり前日に準備したり、朝早くお弁当の支度をし、子供達に家の鍵を預け、危険のないよう約束事をし、現地に7時半到着。受付担当でしたが、前泊された方のトラブルを聞き、緊張しながらの受付業務でした。両日共に、会員の協力のもと、大成功に終わりました。みなさんの協力のおかげで無事に終わり感謝の気持ちでいっぱいです。 **額田直子**



懇親会のオープニング  
実行委員会メンバーによる  
「手のひらを太陽に」手話を披露

## 平成22年度関東甲信越静地区研修会アンケート結果

総参加者数 195名 アンケート回収数 98名(50.2%)

支部別回答数	埼玉県(10) 神奈川県(10) 長野県(7) 東京都(6) 茨城県(5) 千葉県(5) 静岡県(5) 新潟県(3) 栃木県(2) 山梨県(1) 富山県(3) 福島県(2) 宮城県(2) 大阪府(2) 愛知県(1) 三重県(1) 未記入(3) 群馬県(30)
仕事形態	開業助産師42名 勤務助産師29名 在宅助産師8名 養成機関8名 その他10名(看護協会、行政、指導助産師、訪問指導助産師) 未記入1名
年代別	20代4名 30代9名 40代25名 50代38名 60代18名 70歳以上3名 未記入1名

## ● 興味をもったプログラム(複数回答あり)

助産師をめぐる最近の動向	33名
22年ぶりの再建から保健文化賞までの軌跡「産婆～助産婦～助産師へ」	28名
子どもの育ちと育て方 ～子ども心療内科より～	38名
からだに優しい手当法	37名
NHK ラジオ深夜便「こころの時代」に込めたメッセージ	73名
ワークショップ「私の母乳育児支援」	58名
医療安全とコミュニケーション	64名



ありがとうございました

## ● プログラムについて

いのちの教育を中心に群馬県らしい支部の良さが盛り込まれた良い内容のプログラムでした。質の高い内容だったと思います。

多角的なテーマからの種々の研修内容は興味深く、心のこもった役に立つ研修会でした。どの講義にも新しい発見がありました。

1日のみの参加で、参加しないで失敗したなあと感じました。活気あふれる研修会の雰囲気です。この盛り上がり福島に持ち帰りたいと思います。私は助産師が伝えるいのちの授業を始めて5年になります。研修会に参加して、自分の講座の不足部分を知ることが出来たように思います。もう一度自分たちの講座を見直してみよう！と頑張れる気がしました。ありがとうございました。

パワーをいただきました。新ためて地区にもっていきたいと思います。生まれてきてくれてありがとう 自尊感情自己肯定感を伝えていきたいです。いのちの教育は以前に参加した時よりまた進化していて素晴らしかったです。マクロビオティックの話は实际的で参考になりました。今ホメオパシーで問題になっているときに聞いたものでした。中味は良かったのですが、伝え方に危険性を感じました。参考になりましたが、何をどれくらい入れるのかもっと具体的に教えてほしかった 医療安全の講義は興味ある内容でとても良かったです。心に響く命の教育は素晴らしい活動で感動しました。部会で代替医療等について激し議論しました。母乳育児支援では自然療法が多く使われているようで少し違和感を感じました。心療内科はもう少し項目を絞って具体策がほしかったです。交流会もあり良かったのではないかと思います。内容の濃い研修会だったと思います。ミネハハさんのイベントも助産師の会にマッチしたもので良かったと思います。担当地区の活動状況について理解が深まるプログラムであり、他支部も活動において多くのヒントが得られたタイムリーな課題がプログラムに取り入れられていた。

分娩や育児支援についてもより詳しい内容が学べるともっと良かったかと思いました。戦略的に行政を巻き込むことなどは勉強になりました。・助産師の役割について考える原点に戻れた気がします。今後もっと勉強したいと思いました。寄り添う、すべてのいのちに！～助産師の原点を見つめ直して～のテーマに沿った素晴らしい企画・構成です。もう一度自分自身の原点を見直すきっかけになり良かったと思います。たくさんの助産師の活動に触れ、元気もいただき感謝でいっぱいです。



## ● 今後の参考になるもの

乳房の手当、性教育、・医療安全、幼児向けの命の教育。 からだに優しい手当法(7名)、母乳手当は永遠の課題

性教育・母乳ケア、お産の動向、医療安全はホメオパシーの件もあり、非常に参考になった。

「いのちの授業」の展開について 良いコミュニケーションの条件は日常の業務(患者さん)との関係の中で参考になると思います。 災害ボランティアをしているので、群馬県のスタッフの皆様のジャンパー・シャツ・スカーフなど目立つユニフォームが良いヒントになりました。・本当に群馬県支部の皆さんのパワーにはびっくり!本当に良かったです!ありがとうございました。大変気持ちよく、楽しく過ごせました。群馬県の会員皆さんのおかげです。・忙しかったので、参加を悩みましたが、参加して大満足でした。群馬の方々の心配りに感激しました。たくさん学べ、リフレッシュ出来ました。

企画から運営まで大変なご苦労があったこととお察し申し上げます。こういう時こそ“団結力”それが明日への助産力となり、2日間、会場での皆様方の緊張と笑顔が伝わりました。本当にご苦労でした

宿泊料の中に参加費が入っていたことは良かった(経費節約)充実した研修と全国の熱い助産師に出会えて良かった

## ● 会場について よい80 ふつう12 未記入4よい

人数に応じた広さで多くの移動がなくわかりやすくて良かった。(1日目の午後の会場が狭かった)静かでゆっくりできました。室温が冷えすぎず、快適でありがたかったです。とっても良ホテルでした。温泉もとても気持ちよく、身も心も癒されました。ただ、交通の面で大変かと思いました。会場近くのトイレの個数が少ない大変でした。セミナー会場 講師からスクリーンが見えなかったと思う。食事・温泉がとても良かったです。明るい清潔。お茶サービス、トイレ清潔感あり 会場の音響が気になりました。(音の大きさ・タイミングが難しかったようで気になりました)

## ● 受付や接待等、運営面について よい77 ふつう17 未記入4

子連れでの参加でしたがみなさ声をかけてくださったり、色々ご配慮いただきありがとうございました。

準備からとてご苦労だったと思います。お疲れ様でした。

心配りがとても良かったです。とてとて準備が大変だったと思いますが、テキパキと確実に動いてくださっていましたね。

1日目高崎駅からバスを利用。当然帰りのバスもあるのだろうと想像していたらなかった。前もってその旨を明示するか、帰りのバスも手配してほしい。その他のことはとても素晴らしい接待をありがとうございました。

昼食のお弁当やホテル全てが本当に美味しく大満足でした。・親切に案内してくれました

暖かく迎えていただき、いたれるつくせりのおもてなし、本当にありがとうございました。(複数)

弁当・受付時の混雑。・全ての協力(運営・手配等)に頭が下がります。・ご苦労様でした

手作りエコバック感動しました。スタッフに皆様のあたたかいご配慮ありがとうございました。嬉しかったです。

あいさつと笑顔が皆様素敵でした(複数)

心温まる運営ありがとうございました。皆様の細やかなお心遣いに感謝いたします

時間どうりに進行せず、また、中間に休みがなく疲れました。・ホテルの従業員の教育をホテル側に申し入れたい

## ● 交流会について

助産師はやはり熱い。みんな語りたい!いのちの誕生に関わっているからか・・・喋り出したらブレーキが効かない。それだけいのちの尊さを知っているから・・・と感じました。

途中からの参加となってしまいましたが内容の濃い話が聞けて良かったです。

今後、市や県に協力してもらえよう働きかけていきたいと思いました。・いろんな方の意見が聞けて良かった時間的にとてとて大変だったけれど、充実していました。遅い時間でしたが他県の話が聞けて良かったです。

一日中ハードスケジュールだったのか、部会で話し合われたためか、テーマによっては参加者が少なく、意見交換が少なかったかなと感じます。・具体的な話が聞けて良かった。・時間が足りなかったのが残念でした。

同じ思いを持つ者が大勢いることを知りました。・各県の現状が把握できた(具体的方策)・参考になる意見交換ができた。・部会集会和交流会ともに時間不足の感あり。2つを包含した集会でも良かったかと思いました

時間のないプログラムの中でよく考えてくれました。・いろんな方の意見や考えなど聞け、学びの場となりました。





### 懇親会について 大満足！ ミネハハの歌声に酔いしれて

☆☆☆☆☆星5つ ミネハハさんに吸いこまれてしまいました。歌や歌詞が助産師と共通するものがあつたことやいのちのようにミネハハさんがオーラを出していたことをまだ余韻に残っています。ミネハハさんの歌声素晴らしかったです。感動しました。(多数)思いが同じ他職種の方ともつながっていけると、もっと素晴らしい活動が出来るなあと思いました。今後も色々指導いただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

スライド(群馬県の活動の発表時間が食事中でしっかり見られず残念でした。)・・・準備に時間がかかった(席に着くのに時間がかかった)のは残念でした。CDがあんなに売れてしまうコンサートは初めてです。・ミネハハさんによる愛と癒しのコンサート涙が止まりませんでした。心が洗われるような思ひでした。

会場が一つになれたのが素晴らしかったです。全てに無駄がなく、かなり話し合わせ、検討されたと思ひます。・美味しい料理、素晴らしい演出、参加して良かったです。こんなに満足した懇親会はありませんでした。

料理美味しく、雰囲気よく、ミネハハも素晴らしく十分満足しています。本当にありがとうございました。お疲れさまでした

イベント盛りだくさんで楽しかったです。泣きました！！・ミネハハに圧倒！！でした、素晴らしかったです。

お食事もおいしく、ミネハハさんの歌も素晴らしく、でも・・・群馬県支部のもてなしの心が何より一番でした。ありがとうございました。・ミネハハさんのコンサートや手話を取り入れた歌等感動をありがとうございました！

・ゆるキャラマスコットやミネハハコンサート、美味しいお料理、各地区からの発表など工夫のあるプログラムと内容で元気になれました。世界を見て貢献できる助産師を育てたいと改めて思ひました。



### 他県の助産師からメッセージをいただきました

<静岡県支部支部長 草野恵子様より> 今回の関東甲信越静ブロック研修会では大変お世話になりました。

静岡に帰ってきて、会場でのグリーンスタッフジャンパーの皆様がまぶたに浮かんできます。皆さんの笑顔と一生懸命の姿が印象的で、参加者をもてなそうという気持ちがとても伝わってきました。参加してとても心地よかったです。ハッピーバースデー、ブロック研修会と大きな企画が続き大変だったと思ひますが、鈴木会長さん真下実行委員長さんを中心に会員の皆さんのチームワークの良さが今回の成功につながったのだと思ひます。いろいろ興味深い講義もありましたが、「生まれてきてくれてありがとう」の紙芝居が心に残っています。単にお話を読むだけでなく、アンパンマンの踊りに始まり、アンパンマンと牛さん(?)の進行で紙芝居が勧められ、子ども達の気持ちをしっかりとらえている様子が伝わってきました。紙芝居の読み方も素晴らしかったです。感動しました。これからはいろいろな県でブロック研修会が行われますが、学術的な研修だけでなく助産師同士が交流を深め、助産師のつながりが深まり広がるのを願ひます。群馬県の皆様、本当にありがとうございました。

<高橋美穂@静岡県支部 お茶畑助産院様より> 今回の関東甲信越静ブロック研修会では家族全員で大変お世話になりました。今回どうしても参加したくて、3歳児と1歳児とパパを連れて参加しました。子供達がいたので、全過程には参加できず、懇親会と交流会と翌日の午前中という形でした。それでも沢山の学びがありました。今年の6月、助産師6名と助産師1名でLOVE BIRTHというユニットを結成して、お産劇を通していのちの大切さを考える機会を作りたいと、LOVE BIRTH主催で11月7日にイベントを企画していて、その準備を進めています。お産劇の内容を考える上で、何か足りないと感じていましたが、今回の研修会に参加して「五感に訴える」という部分が足りなかったと気づきました。いのちの教育のお膝元で学べた今回の研修は、とてもよかったです。群馬支部の皆様、ありがとうございました。

<田中春海様 長野県支部>

助産師会という組織から職業倫理、一人ひとりのスキルアップ多方面にわたって学習する事ができました。懇親会ではゆるキャラの「ぐんまくん」や「ミネハハ」さんのコンサートで涙し、癒され、勇気づけられ夜遅くまで交流会でディスカッション温泉に浸かりながらも情報交換に勤しみ多くの学びがありました。(生きたあわびにはただただ驚きました)群馬県支部の皆様は、ここ数日間、寝る間もなく準備に追われていらっしゃいましたね。思わぬトラブルは数限りなくあつたと思ひますが、チームワークでどんどん乗り切られ参加者には笑顔で心のこもったご接待をされなんの滞りもなく、満足して学習ができた事に感謝、感謝です。さあ！今から、学習会で得たものを、どんどん活用していきます。群馬県支部のみなさま、ありがとうございました。